

イベント・体験情報 ※詳細は、ホームページをチェックしてください。

信玄公祭り「輝きの祭典」大宝飾展

日本一のジュエリー産地甲府で県内を代表する宝飾品メーカーが一堂に会します。会場を埋め尽くすジュエリーはどれも逸品。10万点以上のジュエリーアイテムの中から、貴方にピッタリの商品をお選び頂けます。会場では、山梨を代表するジュエリー「Koo-fu」の展示のほか、宝石すくいやスタンプラリーなど、様々なイベントを用意しています。

日時：平成28年4月9日（土）10:00～19:00
場所：山梨県防災新館1階オープンスクエア
※4/10には当館でもスタンプラリーを実施します。



「Designer-Craftsman Jewelry」第二弾！（5月14日から）

好評をいただいておりますワンランク上の体験「Designer - Craftsman Jewelry」に新たな体験が加わります。Koo-fu デザイナー大森弘子氏のアイデアを宝石研磨職人・依田和夫氏と鋳職人・小池幸夫氏が「かたち」にします。



デザイン画
ペンダント「月に抱かれて」



大森弘子氏



依田和夫氏



小池幸夫氏

開館時間を変更します。

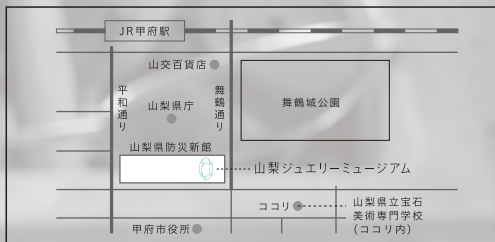
平成28年4月1日より開館時間が10:00～17:30（最終入館は、17:00まで）となります。



山梨ジュエリーミュージアム

開館時間：午前10時～午後5時30分（最終入館は、午後5時まで）
休館日：火曜日（祝日の場合は、その翌日）、年末年始（12/26～1/1）
：その他、臨時に開館・休館することがあります。

入館料 無料
駐車場：92台（山梨県防災新館地下有料駐車場、来館者は1時間無料）
〒400-0031 山梨県甲府市丸の内1-6-1 山梨県防災新館1階（山梨県庁内）
<http://www.pref.yamanashi.jp/yjm/index.html>



Yamanashi
Jewelry
Museum

伝統工芸士

齋藤 本晴

Vol.5



craftsman jewelry

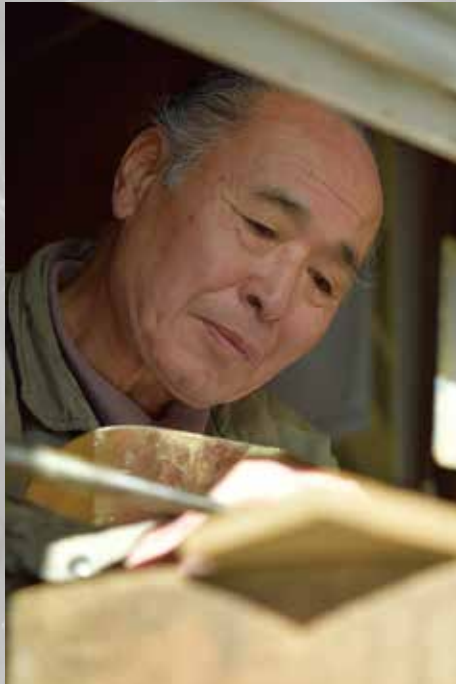
手作りの「魅力」

国指定の伝統的工芸品「甲州水晶貴石細工」。観音像を得意とする齋藤本晴も伝統工芸士の一人だ。作っていて一番楽しいのはやはり観音像。

細かい方が作りやすく、シンプルなものには誤魔化しがきかず、荒が目立ち難いと言います。

昔は京都へ実際に観音像を見に行きました。そのときに手に入れた写真を見て作ることもあるそうだが、今はもう全て自分の頭の中に入っている。デッサンはせず、貴石に直接書く。摺り始めるとすぐに消えてしまうが、あとは指先の感覚だけで十分だ。

「彫刻の魅力？売れる、売れないは別にして、自分にとって良いもの、気に入ったものが出来上がると嬉しいね。そこがもの作りの良さだと思う。顔の表情も作る人によって違う。今は機械で色んなことが出来るようになったけど、やっぱり手作りって面白いよ。」



@親の背を見て

昭和18年生まれ。伝統工芸士として活躍する齋藤だが、もともとサラリーマンだった。高校卒業後、東京で数年間働き、地元山梨に戻り役場に勤務していた。しかし、人に使われるような仕事に疑問を覚え、手に職を付け、自分一人で出来る仕事に就きたいと思うようになる。

小さい頃からもの作りや細かい作業が好きだった齋藤は、24歳のとき、父に弟子入りをし、水晶彫刻の世界に入った。中卒、高卒で職人になる人が多かった時代。それを引け目に感じることはなかったという。最初から独立するつもりで、職人としての姿勢やたくさんの技術を教えてもらい、4年もたたないうちに独立した。



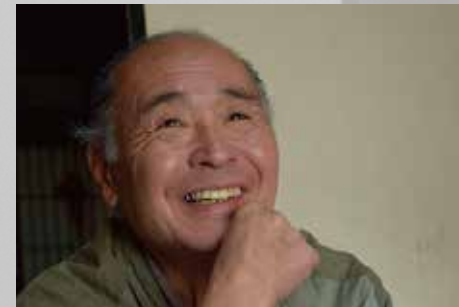
この世界に入ったきっかけは「やっぱり親父がやっていたから始めたんだろうな。」と齋藤はいう。小さい頃に見た父の仕事姿に面白さを感じていたのだろう。

@時代にあったものを

今と昔では売れるものが変わってきている。家の造りの変化も要因の一つだ。昔は床の間がある大きい家がたくさんあった。観音像などを床の間に飾って、家を訪れる人に見てもらう。より良いものを！と買い求める人が多かったが、今は洋風な家が増え、飾る場所がなくなってしまった。

齋藤がこの仕事を始めた頃は、海外向けの唐美人や小動物がよく売れたそうだ。しかし、それも次第に落ち着き、国内向けに観音像制作に挑戦した。観音像も長年人気があったが、それも落ち着いた。

今は、ジュエリーを制作する職人が増えている。「時代にあったものを作ればいい。今に限らず、昔も時代の流れに合ったものを作っていたよ。若い人には伝統に縛られることなく、新しいことにぜひ挑戦してほしい。」と語ってくれた。



伝統工芸士 齋藤本晴 (水晶美術彫刻)

昭和18年生まれ。24才の時に、父である田中堯保氏に師事。昭和59年に一級宝石研磨士、平成11年に伝統工芸士に認定。

齋藤本晴氏による実演及び体験指導

4月30日(土)に同氏による実演及び体験指導が実施されます。実演の内容は「大黒天像」の水晶彫刻です。お気軽にお立ち寄りください。



次回「デザイナー 大森 弘子」2016年5月発行予定